



平成26年度四島交流事業が始まりました!

本年度の北方四島交流事業いわゆる「ビザなし交流」の訪問団第1陣（実施団体：北方四島交流北海道推進委員会）が5月24日～26日までの期間で国後島を訪問しました。交流訪問団は23日午前9：30に四島交流専用船「えとぴりか」で出港予定でしたが、波が高いことなどから出港を見合わせ、24日午前5時に出港しました。



訪問団第1陣には、根室市議の壺田重夫団長をはじめ、釧路青年会議所の影井友武副団長、元島民や返還運動関係者、顧問として新党大地の鈴木宗男代表、そのほか衆議院・北海道議会の議員数名が参加しました。

訪問団は現地の施設等視察の後、ホームビジットやコンサート、夕食交流会などでロシア人島民と友好を深め、26日に根室港に戻りました。

北方四島交流事業（ビザなし交流）は、今年で23年目を迎え、平成25年度までに訪問295回（11,473人）、受入203回（8,282人）、合計19,755人の方が交流しています。



北方四島交流センター（ニ・ホ・ロの最近の出来事）

北方少年少女塾が始まりました

平成26年度の「北方少年少女塾」が5月15日からスタートしました。



5月は15日に「別海町立上西春別中学校」から22名、20日に「根室市立啓雲中学校」から55名の生徒が参加し、択捉島出身の岩田広一さん、歯舞群島多楽島出身の河田弘登志さんの講話や説明員による展示室・資料室の解説に熱心に耳を傾けていました。

この事業は北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会（北隣協）が主催するもので、根室管内の小・中学生に北方領土問題に対する正しい理解と認識をもってもらうことを目的に平成13年度から始まり、今年で14年目になります。



フリーマーケットが開催されました！

資源リサイクルの一環として宝林町会主催による「第13回リサイクルパートナー宝林フリーマーケット」が開催され、今年は同町会個人間員を含む1団体11個人が出店し、300人を超える方々が訪れました。



お知らせ

新しい本が入りました

ほっかいどう
～『北加伊道 松浦武四郎のエゾ地探検』～

図書室に新しい本が増えました。タイトルは『北加伊道 松浦武四郎のエゾ地探検』です。松浦武四郎とは、江戸時代、蝦夷地と呼ばれていた北の大地をくまなく歩き、自然と人々の暮らしを記録し「北加伊道」（北海道）と名づけた人物です。

絵本作家関屋敏隆さんが武四郎の命を懸けた旅を小・中学生向け絵本として出版されたこの作品は、二・ホ・〇1階図書室にて閲覧できます。

